

独りっ子

作詞 浅羽一 (J'Soul)

その場の勢いでくたばってみても 帰ってくれば救世主
同情の種にうずくまってみても 止まってもらえぬ大通り
聞いた話じゃ心の疲れた現代っ子と
頭のいかれた未来人が
抱えた膝をつき合わせて地球の在り方を憂う
そんな遊びがヴァーチャルの世界にゃあるらしい

口から言えない文句や本音を 指先に任せて連打連打
終いにゃ喋るよりも早く画面に並ぶ文字・記号
飲み屋の席で人の個性こそ価値があるとか言う奴に限って
手書きの書類を認めてくれない現実問題
あぁこりゃ面倒だわって その気もないのに破滅を手招く暇人も出るわな

飲めない焼酎をデフレにあおられて あおってみせて英雄気取り
かまって欲しくて絡み酒真似て トイレの中では一人吐く
昨夜の夢じゃ幼い顔した都会っ子が
隣のクラスの憧れに
偶然頼みの運命をアピールしては空回り
そんなトラウマにつま先の向きを歪められて

腹にたまってる願いや理想を 言い訳をかぶせて皮肉っぽく
気付けば自分でも何が本当か忘れて無くして
日記を開けど書かれてる中身をどうにも信じられなくて
結局『昨日』の日付につなげて『今日』が出来上がり
あぁこりゃ意味ないわって ペン捨てるついでに窓から飛び降りる衝動もわくわな

平面の世界じゃ物足りないって 画面の中に3Dを押し込めて
砂漠で見つけるオアシスじゃあるまいし
それともデジタルの曇気楼ですか
それなら何とんとんちの効いた代物だけど
機械がぬくいのはコンセントを差してる間だけですよ

●繰り返し

■繰り返し